

半布里

＝学校の教育目標＝
美しい心を持ち 自ら考え
たくましく 実践する

地域の教育力に感謝します

校長 堀部 千治

蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは、毎日、学習や運動に元気に取り組んでいます。早いもので今年度が始まって 3 ヶ月が経ち、もう 7 月です。どの子も一段と大きく成長してきているようで、とてもうれしく思っているところです。

6 月 14 日（木）に 4, 5 年生は、愛農会や J A めぐみの皆さんの指導の下、井高で田植え体験を行いました。この体験は、4 年生は総合的な学習の時間を活用し、富加町の身近な自然環境に目を向



ける一環として行っています。また、5 年生は、社会科で米作りの学習が位置づけられています。実際に田植えを体験したり、農家の方に生の声を聞いたりすることは、私たちが食べているお米を育てるための工夫や大変さを実感する上で、とてもよい機会です。子どもたちにとって、水田を見る機会は多くあっても、田植えの体験は少ないと思います。ましてや機械を使つての田植えがほとんどである今日、手植えの体験はまずありません。子ども

たちは、愛農会の方々に田植えの仕方を教えて頂きながら苗を植えていきました。「こうやって苗をもって」とか「ダメダメ、そんなに間を広げちゃ」「深く植えすぎだよ」などの指導を受けながら汗だくで行いました。初めは、泥に足をとられてうまく動けなかったり、虫などが気になって上手に苗植えができなかったりしましたが、慣れてくると手際よくできるようになってきました。中には、束 4 つ分の稲苗を植えた子もいました。田植え体験が終わる頃には、「もっと植えたい」「楽しかった」という声も聞こえてきて、楽しく活動することができました。田植えの後、愛農会の方々に米作りの大変さや苦労などたくさんお話を聞かせていただきました。

こうした体験は、米づくりの苦労や大変さを学ぶだけでなく、富加町の自然や文化の素晴らしさに気づくことにつながります。また、地域の素材・人材を活用することは、子どもに興味や意欲をもたせることができるので、意義ある活動だと思います。この田植え体験を終えて、後の観察、稲刈り、町民まつりでの餅つきと、子どもたちは楽しみな夢をもちました。この機会を与え、指導していただきました皆様方に感謝いたします。

このように富加小学校では、地域にある素材（公共施設、資料館、史跡、商店、工場、農地など）や人材を教育課程の中に取り入れています。人材とは、クラブ活動、社会科、総合的な学習の時間に来校していただき、ゲストティチャーとして専門的な立場で指導していただく方のことです。毎月第一金曜日の読み聞かせの時間には、多くのボランティア方が子どもたちに読み聞かせをしてくださっております。

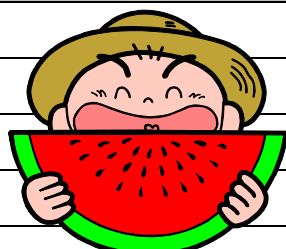
活用の仕方は様々ですが、子どもたちにとって地域の素材や人材は、新鮮味があり効果的です。本当にありがたいことです。



<読み聞かせの様子>

7月行事予定

日	曜	校内行事等
1	日	
2	月	PTA参観日・懇談会 アルミ缶回収 P母親委
3	火	友愛ブレンド学級(1, 2年) クラブ
4	水	全校集会(ロング昼) フッ素洗口
5	木	自然の家合宿①(5年) 歯の優良児表彰
6	金	自然の家合宿②(5年) 確かめテスト(漢字) 読み聞かせ
7	土	
8	日	青少年を守るつどい(6年代表)
9	月	自転車教室(各学年毎)
10	火	交通立ち番 A ラジオ体操(青空)
11	水	レインボーリング(L昼) フッ素洗口
12	木	委員会 P坂富実行委
13	金	ラジオ体操(青空) 通学班会(6限) P選挙管理委
14	土	
15	日	
16	月	海の日 
17	火	
18	水	児童集会(ロング昼) フッ素洗口
19	木	
20	金	終業式 給食あり 一斉下校 15:15
21	土	
22	日	
23	月	プール
24	火	プール
25	水	プール
26	木	プール
27	金	プール
28	土	
29	日	
30	月	プール
31	火	プール



夏休みの行事予定は、
後日改めてお知らせし
ます。

7/2 授業参観、懇談会

1学期まとめの授業参観、懇談会です。
1学期のお子さんの成長を観ていただき、
認め励ましの言葉をかけてあげて下さい。
懇談会では、担任から1学期の学校生活の
成果と課題を報告させていただきます。
また、夏休みの宝物づくりの資料を紹介
させていただきます。宝物づくりを通して、
夏休みだからこそできる経験をしたり、
親子のコミュニケーションを図っていただ
いたりすることが、お子さんの心の成長の
大きな糧になります。

平成24年度 第1回全校研究会

富加小では、今年度も国語科を中心として、
授業研究を行っています。6月21日には、
2年生の授業公開をして、第1回全校研究会
を行いました。教材は、「スイミー」でした。
子どもたちは、文章をよく読み、言葉に着目
して、自分の考えを進んで交流できました。
お招きした講師の先生からは、子どもたちの
「話し方・聞き方」が素晴らしいという点も
褒めていただきました。

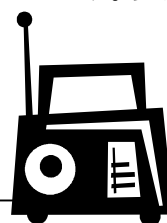
こうした学習を生かし、
さらに力を伸ばすために、
夏休みにはいろいろな種
類の本をたくさん読んだり、
自分が体験したことを
日記に書いたりすると
よいですね。



「命の教育」防災教育を家庭でも・・・

先日、岐阜放送様から、小学校に防災ラジオ
をいただきました。これは、「大規模地震の警
戒警報」のほか、「地方公共団体が発する災害
警報」「津波警報」を自動的に受信できるもの
です。こうした様々な立場から、「防災」「減災」
に備える動きがあります。学校でも、今年度「命
の教育」の取り組みを見直し、子どもたちに強
く意識づけるように指導しています。

こうした大きな災害のほかにも、お子さんの
身の回りには、交通事故や不審者、特に夏は水
の事故等、様々な危険が潜んでいます。夏休み
の計画を立てるに当たり、
ぜひご家庭でも、命の大切
さや安全について、具体的
に考える場を作ってくだ
さい。



緊急!

